

# 普通会計の貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

借方		貸方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
1. 公共資産		1. 固定負債	
(1)有形固定資産		(1)地方債	163億6,625万円
①生活インフラ・国土保全	458億 717万円	(2)長期未払金	
②教育	240億5,406万円	①物件の購入等	1億 665万円
③福祉	28億 12万円	②債務保証または	
④環境衛生	4億 35万円	損失補償	0万円
⑤産業振興	72億2,059万円	③その他	2,284万円
⑥消防	5億5,945万円	長期未払金計	1億2,949万円
⑦総務	41億7,914万円	(3)退職手当引当金	40億4,353万円
有形固定資産計	850億2,088万円		
(2)売却可能資産	8億7,360万円		
<b>公共資産合計</b>	<b>858億9,448万円</b>	<b>固定負債合計</b>	<b>205億3,927万円</b>
2. 投資等		2. 流動負債	
(1)投資および出資金		(1)翌年度償還予定	19億4,950万円
①投資および出資金	8億8,210万円	地方債	
②投資損失引当金	0万円	(2)短期借入金	
投資および出資金計	8億8,210万円	(翌年度繰上充用)	0万円
(2)貸付金	9,319万円		
(3)基金		(3)未払金	7,871万円
①退職手当目的基金	10億5,868万円	(4)翌年度支払予定	
②その他特定目的基金	43億9,036万円	退職手当	2億8,166万円
③土地開発基金	8億9,660万円	(5)賞与引当金	1億6,999万円
④その他定額運用基金	1億 135万円		
⑤退職手当組合積立基金	0万円		
基金計	64億4,699万円		
(4)長期延滞債権	4億8,271万円		
(5)回収不能見込額	△1億4,167万円	<b>流動負債合計</b>	<b>24億7,986万円</b>
<b>投資等合計</b>	<b>77億6,332万円</b>	<b>負債合計</b>	<b>230億1,913万円</b>
3. 流動資産		〔純資産の部〕	
(1)現金預金		1. 公共資産等整備	
①財政調整基金	17億 円	国県補助金等	147億4,733万円
②減債基金	10億 円	2. 公共資産等整備	
③歳計現金	4億1,250万円	一般財源等	648億3,757万円
現金預金計	31億1,250万円	3. その他一般財源等	△56億8,441万円
(2)未収金		4. 資産評価差額	0万円
①地方税	1億3,539万円		
②その他	1,393万円		
③回収不能見込額	0万円		
未収金計	1億4,932万円		
<b>流動資産合計</b>	<b>32億6,182万円</b>	<b>純資産合計</b>	<b>739億 49万円</b>
<b>資産合計</b>	<b>969億1,962万円</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>969億1,962万円</b>

※各項目で端数処理を行っているため、集計値が一致しない場合があります。

◇財政課のホームページ (<http://www.city.nakano.nagano.jp/city/zaisei/>) では、財務書類を掲載しています。

問い合わせ先 市役所財政課財政係 ☎ (22) 2111 (内線221)

# 普通会計の資金収支計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1 経常的収支の部		
人件費	37億7,138万円	
物件費	24億1,877万円	
社会保障給付	17億4,116万円	
補助金等	29億 677万円	
支払利息	3億3,001万円	
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	12億9,476万円	
その他支出	5億 535万円	
<b>支出合計</b>	<b>129億6,820万円</b>	
地方税	55億7,685万円	
地方交付税	60億5,678万円	
国県補助金等	29億9,552万円	
使用料・手数料	4億7,067万円	
分担金・負担金・寄附金	8,042万円	
諸収入	4億8,810万円	
地方債発行額	8億2,360万円	
基金取崩額	6億8,020万円	
その他収入	9億9,865万円	
<b>収入合計</b>	<b>181億7,079万円</b>	
<b>経常的収支額</b>	<b>52億 259万円</b>	
2 公共資産整備収支の部		
公共資産整備支出	28億6,107万円	
公共資産整備補助金等支出	1億 8万円	
他会計等への建設費充当財源繰出支出	254万円	
<b>支出合計</b>	<b>29億6,369万円</b>	
国県補助金等	8億6,407万円	
地方債発行額	9億8,725万円	
基金取崩額	1億4,017万円	
その他収入	5,140万円	
<b>収入合計</b>	<b>20億4,289万円</b>	
<b>公共資産整備収支額</b>	<b>△9億2,080万円</b>	
3 投資・財務的収支の部		
投資および出資金	0万円	
貸付金	2億9,320万円	
基金積立額	10億5,091万円	
定額運用基金への繰出支出	90万円	
他会計等への公債費充当財源繰出支出	11億5,503万円	
地方債償還額	21億1,892万円	
<b>支出合計</b>	<b>46億1,896万円</b>	
国県補助金等	0万円	
貸付金回収額	2億9,272万円	
基金取崩額	9,447万円	
地方債発行額	0万円	
公共資産等売却収入	464万円	
その他収入	815万円	
<b>収入合計</b>	<b>3億9,998万円</b>	
<b>投資・財務的収支額</b>	<b>△42億1,898万円</b>	
<b>当年度歳計現金増減額</b>	<b>6,281万円</b>	
<b>期首歳計現金残高</b>	<b>3億4,969万円</b>	
<b>期末歳計現金残高</b>	<b>4億1,250万円</b>	

## 特集

# 平成21年度

# 普通会計のバランスシート

バランスシート(貸借対照表)は、一般的に企業会計の決算の中でまとめられ、企業の財務状況をあらわす表のことです。

市では毎年、バランスシート(貸借対照表)を作成し、公表しています。バランスシートを作成することにより、ある時点に存在する、税金の投入などにより整備された資産や、将来返済しなければならぬ負債と、返済が不要な純資産との比率などに関する情報が把握できます。

**バランスシート作成の基本的事項**

対象となる会計範囲は、普通会計です。今回のバランスシートは「新地方公会計制度研究会報告書」および「新地方公会計制度実務研究会報告書」を活用し作成しました。

**バランスシートから分かること**

(1)平成22年3月31日現在における資産合計が約969億1,962万円である一方、負債は、約230億1,913万円であり、その差の純資産は約739億49万円です。

(2)資産の部では、有形固定資産などの公共資産が約858億9,448万円を占め、残り約110億2,500万円の流動資産で、合計約969億1,962万円となっています。

(3)有形固定資産を目的別にみると、生活インフラ・国土保全(道路、橋りょう、都市計画、公園など)で多くの事業費がかかり、毎年継続的に整備される土木関係が、約458億700万円(有形固定資産全体の約54%)、小・中学校などの建設事業費を含む教育関係が約240億5,400万円(同28%)と大きいことが分かります。

(4)負債の部では、地方債が固定負債と流動負債を合わせて約183億1,600万円であり、負債全体の約80%、退職手当関係費用が固定負債、流動負債を合わせて約43億2,500万円(約19%)の構成比になりました。

(5)純資産の部では、国・県からの補助金などが約147億4,700万円であり、公共資産等整備にかかった市税などの一般財源などが約648億3,757万円となっています。

**キャッシュフロー**

**資金収支計算書**

資金収支(キャッシュフロー)計算書とは、一般会計年度における資金の動きを表したものです。この資金収支計算書は、行政活動を資金の流れから見たもので、年度初めと年度末の資金の増減内訳を表したものです。

**資金収支計算書作成の基本的事項**

今回作成した、資金収支(キャッシュフロー)計算書は、次の基本的事項により作成されました。

(1)対象となる会計範囲は、普通会計です。

(2)資金の範囲を、※歳計現金として扱います。

(3)計算書は、企業会計にならって「経常的収支」、「公共資産整備」、「投資・財務的収支」の3つの活動区分に分類しました。

**資金収支計算書から分かること**

本市の資金収支計算書は次のとおりです。

(1)「経常的収支の部」では約52億2,599万円のプラスとなっています。

(2)「公共資産整備収支の部」では約9億2,080万円のマイナスとなっており、「経常的収支の部」のプラスの額の範囲内で対応できました。

(3)「投資・財務的収支の部」では約42億1,898万円のマイナスとなっており、「公共資産整備収支の部」と同様、「経常的収支の部」のプラスの額の範囲内で対応できました。

(4)以上、3つによる資金収支で歳計現金の年度末残高は、約4億1,250万円となりました。

※歳計：国または地方公共団体の一般会計年度における歳入・歳出の総計